



# 西彼中通信

【校訓】

自主・創造・敬愛

文責 校長 大串 久隆

素晴らしい秋晴れの日々、朝夕は少し肌寒さも感じるようになりましたが、保護者の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。10月は、多くの行事が行われ、生徒の様々な活躍が見られました。今回は、その様子を、一挙に紹介します。

## 「学びの土台づくり」研究発表会…子どもたちの頑張りで、本校の取組をしっかりと発表できました。

10月18日(金)に、西彼中学校「学びの土台づくり」研究発表会が行われました。学びの土台づくりとは、これまで、西海市が研究を行ってきた「学びの共同体」による学習推進を引き継ぎ、その中の学級や学年、学校の「支持的風土」の向上と授業における「ジャンプ課題」の実践による、生徒たちの意欲的で協同的な学習推進力を高める。という研究です。

東京大学名誉教授であられる佐藤学先生をお招きし、午前中の公開授業6コマと午後の研究授業3コマを参観いただき、シンポジウム形式で研究発表会を行いました。

シンポジウムでは、本校生徒の学習の様子や授業デザインをもとに、「学びの共同体」の授業の効果や生徒の成長などについて、様々な視点から議論がなされました。生徒たちの、のびのびとした授業姿勢のおかげで、授業の導入から課題へのつなぎ方や課題の難易度の重要性など、「学びの共同体」や「学びの土台づくり」の授業で大切な部分が、参観者によく伝わり、とても意義深い研究協議ができました。

そして、佐藤教授から、生徒たちの様子が次のように話されました。

東京大学名誉教授 佐藤学先生が見た西彼中の生徒

- ・生徒たちの成長が素晴らしいです。
  - ・素直な子どもたちで、柔らかくなり、学びに前向きで、繋がりがとても良くなっています。
  - ・伸びしろがいっぱいの生徒たちです。
- (聴き合い、学び合い、つなぎ合いの力で、生徒たちが大きく伸びる可能性があります。)
- ・先生方が<ジャンプの学び>を導入され、探究と協同の学びへの方向に進まれています。これも、この1年の前進です。



## 「西彼祭」

### 1年生による太鼓の演奏…「開幕太鼓」と「渦潮太鼓」

会場の静寂を打ち破って、1年生の開幕太鼓で西彼祭が始まりました。緊張していた生徒たちが、太鼓をたたいていくうちに、自分たちのリズムをつかみ取っていくのがとても頼もしかったです。みんなで気持ちを合わせて、立派に「開幕太鼓」を演じ切りました。そして、「渦潮太鼓」。まさに、西海橋の「渦潮」を思わせる力強く、そして流麗な動きは見事でした。1学期から夏休みまで時間を掛けて練習した、その成果をしっかりと披露しました。また、懇切丁寧に指導していただいた森浩三さんをはじめ、保護者や先輩の皆様、本当にありがとうございました。



### 職員合唱…「合唱は楽しい」 それさえ伝われば...

今年度の生徒総会で、「どうしたら、西彼祭が盛り上がるか」について話し合いが行われ「先生たちが合唱をする。」という意見が出され、職員への要望事項となりました。正直な気持ちとして、「西彼祭を盛り上げるのに、教師頼みなの？」という気持ちも持ちつつ、職員会でどうするかを検討しました。「駅伝、研究発表会、西彼祭、西海市音楽祭、などなどたくさん行事が山積みの状態で、職員合唱ができるのか？」という心配の声や「生徒に披露するなら、それなりにいい合唱にしないとイケないのでは？」という意見もありました。そんな中、「肩に力を入れずに、『合唱は楽しい』ということだけでも伝わればいいんじゃないでしょうか。」という意見が出され、みんなで楽しい合唱をしよう。ということになりました。



9月、10月は、予想通り、職員どうしがゆっくり会話もできないぐらいの忙しさの中、各職員は各自で「空も飛べるはず」を聞いたり、歌ったりして、練習していたのだと思います。全体練習をしたのは、西彼祭の前日でした。

みんなで1回合わせてみると、これがとても楽しいのです。この日、2回の練習と並び方、そして歌の中での演出を確認して、練習を終えました。この時、職員合唱を嫌がる職員はいませんでした。それは、合唱コンクールに向けて努



力する生徒たちの姿を見て、「頑張ってもらいたい」という思いと、少しでも生徒たちの力になりたいという思いが強く湧いてきたからだと思います。

当日、歌い終えて、子どもたちが大喜びする姿を見たとき、「やってよかった」「合唱は楽しい」と心から思いました。

### 1年生の合唱

西彼中学校での初めての合唱でした。1年生は、緊張した面持ちで歌っていました。曲を覚え、大きな声で歌うことや、音程を揃えたり、各パートのバランスやハーモニーをつくらしたりすることは、とても根気がいることであり、難しいことでもあります。実際、練習当初から、なかなか声を出さずできませんでした。しかし、練習を積むうちに、徐々に声も大きくなり、各パートのハーモニーが表現されるようになっていきました。

本番では、みんなが真剣な表情で、最高の合唱を作り上げようとする姿が、とても印象的でした。



### 2年生の合唱

2年生は、西彼中学校で2度目の合唱でした。昨年の経験や反省などを生かして、どこまで質の高い合唱にできるかチャレンジできるのが2年生です。

実際、各学級で練習を積み重ねたり、3年生と合同練習を行ったりして、昨年よりもレベルの高い合唱を作り上げました。

本番では、みんなで作りに上げた合唱を、精いっぱい披露しました。みんなが心を合わせて、とても迫力のある合唱でした。



### 3年生の合唱

3年生は、西彼中学校における最後の合唱コンクールでした。一騎打ちのコンクールで、1組と2組が全力で競い合うというのは、遺恨を残すようなイメージもありますが、むしろ、お互いが信頼し合い、尊敬しあっているからこそ、全力でぶつかりながらも、喜んだり、悔しがったりすることができるのだと思っています。

実際、3年生の合唱コンクールへ向けた努力はすさまじく、お互いが、「絶対勝つぞ」と勝利を目指して、真剣に努力しました。その、磨き合い、競い合いが、ものすごいレベルの合唱につながったと思います。

当日の3年生の合唱は、鬼気迫るほど集中力が研ぎ澄まされ、観客の心を歌の世界に引き込むような、素晴らしい合唱となりました。



## 西海市中学校音楽祭…「響けハーモニー 西海の空へ」

10月25日(金)には、西海市中学校音楽祭が、大島文化ホールで開催されました。この音楽祭は、西海市内の中学3年生が一堂に会し、各校の合唱を披露し、鑑賞し合う音楽祭でした。冒頭には、西海中学校の勇壮な黒潮太鼓が披露され、とても気持ちの引き締まる音楽祭となりました。

各校の3年生の合唱は、どの楽曲もとてもレベルが高く、各校の人数や男女比などを上手に生かした、素晴らしい合唱を鑑賞することができました。また、生徒たちの手による音楽祭にするために、司会進行を川口琥成くん(3-1)と高村日菜さん(3-2)に務めてもらいました。

前日にできた台本にもかかわらず、スムーズに進行を行い、開閉会式の進行や各校の合唱の紹介を見事に行い、素晴らしい音楽祭にしてくれました。

西彼中学校からは、1曲目、3年1組の「虹」を披露しました。音響板のある文化ホールでは、各パートがすぐそこで歌っているかのように聞こえ、ソプラノやアルトの澄み切った歌声や男性パートの支える力強い歌声など、臨場感豊かに聞くことができました。そして、圧巻だったのが、学年合唱の「今を生きる」です。1組と2組が合唱コンクールに向けて、切磋琢磨して作り上げた合唱が、西海市音楽祭では、一つの合唱となって披露されました。強弱やハーモニーなど、生徒たちの歌への思いがしっかりとこもっていて、自然と涙が出てくる合唱でした。

